

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	1227
		決裁期日	令和7年11月12日
名称	令和7年度第2回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会		
日時	令和7年11月7日(金) 15時00分から16時20分		
場所	保健福祉総合センターかみん 1階多目的ホール		
出席者	大場会長、加藤委員、山谷委員、檜野委員、谷口委員、羽賀委員、奥田委員、前原委員、角波委員 三好課長、飯村主幹、加藤施設長、高田主査、瀬川主事、石和社会福祉士 計15名		
内 容	<p>令和7年度第2回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会を開催しました。内容については下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務局職員自己紹介（異動関係）異動職員なし ○大場会長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・本日は事務局より5件の報告案件と追加で1件の協議事項があると聞いております。来年度は第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定年度となります。策定に向けても皆様には忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。 <p>議題</p> <p>1. 令和6年度介護保険事業進捗状況報告書について（資料1）</p> <p>別紙資料1のとおり飯村主幹より説明。1~4頁については年報のポイントを表でまとめたものの為、説明は5頁からの報告書の概要に沿って説明。</p> <p>【加藤委員】第1号被保険者に占める認定者の割合が北海道や全国に比べて10%以上も低いのは、上富良野町が健康・検診に力を入れている証拠と思われるため、今後も継続していってほしい。</p> <p>2. 令和7年度高齢者実態調査の概要について（資料2）</p> <p>令和7年5月1日を基準日とし、調査実施した高齢者実態調査の概要について、別紙資料2のとおり飯村主幹より説明。本調査概要は民生委員の聞き取りによるものためその他の調査とは異なる部分がある事を説明。</p>		

3. 令和 7 年度介護保険サービス種類別保険給付実績中間報告について（資料 3）

上半期の令和 6 年度計画に対する執行率については、給付費合計で 49% とほぼ計画通りの執行率となっている。執行率の乖離が大きいものについて要因を説明した。

訪問介護：ニーズの上昇による増加。

居宅療養管理指導、通所介護：町内には存在していないため見込みが小さく設定。

住宅改修費：1 件に金額が大きいため乖離がある。

特定施設入居者生活介護：近年は体が元気なうちに親族の近くに移る傾向があり需要が伸びている。

【檜野委員】居宅サービス増の理由は？

【飯村主幹】元気なうちに親族の近くに住み居宅サービスを受ける事案が増えている。元気なうちは施設に入らず自宅で過ごす人が多い。

【檜野委員】短期入所の執行が少ないのは施設の問題か？

【飯村主幹】利用者の多くが農業世帯が多く施設の空きがない時があるぐらい夏場の利用が多いが、その反面冬の利用者が少ない傾向がある。

4. 令和 7 年度市町村保険者機能強化推進交付金及び介護保険者努力支援交付金評価結果について（資料 4）

内 容

別紙資料 4 のとおり令和 7 年度の評価結果について、飯村主幹より説明。

推進交付金合計の点数については平均点と変わらないが、努力支援交付金の点数については平均点より 50 点以上低い点数となっている。要因としては「目標Ⅱ認知症総合支援を推進する」が平均点の半分以下の点数である。これについては令和 8 年度に新規事業の予算を計上し対策を行うと説明。

5. 高齢者施設経営分析業務報告書について（資料 5）

全 239 ページあるため抜粋して飯村主幹より説明。主に上富良野町の今現在の状況、10 年後の状況について分析結果を説明。

【谷口委員】黒字経営となっている施設は民間での経営か？

【飯村主幹】そのとおりである。公営での施設は人件費の支出割合が高くどこも赤字経営である。令和 8 年度に外部に経営診断の委託を行う。委託業者より結果が出ましたら皆様と共有させていただき、ご意見を賜りたいと存じます。

6. その他

令和 8 年度 認知症地域支援・ケア向上事業の実施（資料 6）について加藤施設長より説明。委員に決を求め全会一致で承認された。

7. 今後の予定

第 3 回を 3 月開催で行う。